

令和 3 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

|        |    |
|--------|----|
| 事務事業番号 | 52 |
|--------|----|

|                 |   |            |        |      |      |     |
|-----------------|---|------------|--------|------|------|-----|
| 担当課             | 教育委員会   | 担当課長       | 江上 智恵  |      |      |     |
| 事業担当者           | 山本 恵理子  | 一次評価者      | 安部 憲一郎 |      |      |     |
| 事業区分            | 継続事業  | 事務事業評価の履歴  | 有      |      |      |     |
| 事務事業名           | 特別支援教育の推進   |            |        |      |      |     |
| 予算科目            | 10 款 1 項 3 目  |            |        |      |      |     |
| 予算事業名           | 教育振興一般経費  |            |        |      |      |     |
| 総合計画での位置づけ(施策名) | 互いに認め合うまちをつくる   |            |        |      |      |     |
| 事業の性格           | 自治事務  |            |        |      |      |     |
| 法令根拠等           | -   |            |        |      |      |     |
| 事業の対象           | 久山町立幼稚園、小学校、中学校   |            |        |      |      |     |
| 事業の目的           | 支援を必要とする子が増える中、支援が必要な子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じて、教育内容や方法について、専門家の助言を基に体制を整える。   |            |        |      |      |     |
| 実施期間            | 開始年度  | 平成 26 年度から |        |      |      |     |
|                 | 終了年度  | 令和 年度まで    |        |      |      |     |
| 事業の内容           | 幼稚園:パート補助員を7名配置。<br>小学校:両小学校に特別支援加配補助員を必要に応じて配置(久原1名、山田1名)<br>中学校:特別支援・通級指導教室担当教員を各1名配置。<br>全体として、臨床心理士による巡回相談を行い、支援が必要な子どもについての洗い出し、個別相談等を行った。 |            |        |      |      |     |
| 目的達成の指標(成果指標)   | 特別支援教育相談員への相談件数   |            |        |      |      |     |
|                 | 区分年度  | 単位         | 2 年度   | 3 年度 | 4 年度 | 5年度 |
|                 | 目標  | 件          | 300    | 350  | 350  | 350 |
|                 | 実績  | 件          | 370    | 377  |      |     |
| 指標設定の考え方        | 個別対応を必要とする子どもの掘り起こしが進めば、相談件数は増えてくる。   |            |        |      |      |     |
| 計画時の懸案事項        | 支援を必要とする児童生徒の保護者の理解が得られない案件がある。   |            |        |      |      |     |
| 計画時の懸案事項への対応    | 教育支援委員会で検討した児童生徒の中で、新規および措置変更者に対しては、臨床心理士同席の上、保護者面談で丁寧に説明を行い、合意形成を図る。   |            |        |      |      |     |



# CHECK(評価)

No.3

|      |     |        |
|------|-----|--------|
| 自己評価 | 評価者 | 山本 恵理子 |
|------|-----|--------|

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ← 小 1 ↓

| 1. そもそも必要な事業か？   | 評点                             | 判定 |
|--|--------------------------------|----|
| <input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。                  | 4                              | B  |
| <input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。                  | 4                              |    |
| <input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。                  | 4                              |    |
| <input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。                 | 3                              |    |
| 2. 町が実施する必要があるか？   | <b>※該当する場合は左の口にチェックしてください。</b> |    |
| <input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。              | 4                              | B  |
| <input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。          | 4                              |    |
| <input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。                  | 4                              |    |
| <input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。                | 4                              |    |
| 3. 実施内容は適切か？   |                                |    |
| ①有効性   |                                |    |
| <input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。       | 4                              | B  |
| <input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。                       | 4                              |    |
| <input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。                   | 4                              |    |
| ②効率性   |                                |    |
| <input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。                       | 4                              | B  |
| <input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。           | 3                              |    |
| <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。         | 4                              |    |
| ③公平性・透明性   |                                |    |
| <input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。) | 4                              | B  |
| <input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。                    | 4                              |    |
| <input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。            | 3                              |    |

|   |                                   |
|---|-----------------------------------|
| 今後の方向性  | A・B=目標達成できたもの<br>C・D=目標達成できていないもの |
| <input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)      |                                   |
| <input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) |                                   |
| <input type="checkbox"/> C見直し                                     |                                   |
| <input type="checkbox"/> D廃止                                      |                                   |
| <input type="checkbox"/> E完了                                      |                                   |

|                                    |
|------------------------------------|
| C見直しの具体的内容                         |
| <input type="checkbox"/> 実施方法の工夫   |
| <input type="checkbox"/> 事業の効率化    |
| <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 |
| <input type="checkbox"/> 事業縮小      |
| <input type="checkbox"/> その他       |

## 4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

支援を必要とする児童生徒は年々増加しており、保護者への対応など学校現場の教諭の負担も増大している。スムーズな学級運営や教諭の負担軽減のためには、町雇用の支援員の存在は欠かせないものである。また、臨床心理士である相談員への相談件数も増えており、専門的知識を活用した支援体制を継続的にとっていく必要がある。

## 5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

支援を必要とする児童生徒は今後も増えていくと考えられ、特に中学校で教室数の不足が課題となっていく。通級指導教室対象児は教諭ひとりで受け持つ人数を超えてしまう。計画的な退級目標を学校と保護者で共有し、実行していくことも必要である。また、本来支援を必要としない子ども幼少期からの親のかかわり方や家庭環境により、就学時に支援が必要と判断せざるを得なくなっていることもあるため、なるべく早いうちから子育て支援の面からも何らかの手だてが必要と考える。

# CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

|      |     |        |
|------|-----|--------|
| 一次評価 | 評価者 | 安部 憲一郎 |
|------|-----|--------|

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ← 小 1 ↓

|   |   |    |    |
|---|---|----|----|
| 1. そもそも必要な事業か？  |   | 評点 | 判定 |
| <input type="checkbox"/>  | 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。                  | 4  | B  |
| <input type="checkbox"/>  | 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。                  | 4  |    |
| <input type="checkbox"/>  | 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。                  | 4  |    |
| <input type="checkbox"/>  | 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。                 | 3  |    |
| 2. 町が実施する必要があるか？  |   |    |    |
| <input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。 |   | 5  | A  |
| <input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。                     |   | 4  |    |
| <input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。                             |   | 4  |    |
| <input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。                           |   | 4  |    |
| 3. 実施内容は適切か？  |   |    |    |
| ①有効性  |   |    |    |
| <input type="checkbox"/>  | 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。       | 4  | A  |
| <input type="checkbox"/>  | 事業の手法・活動内容は適切である。                       | 5  |    |
| <input type="checkbox"/>  | 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。                   | 4  |    |
| ②効率性  |   |    |    |
| <input type="checkbox"/>  | 事業費に見合った成果を上げている。                       | 4  | B  |
| <input type="checkbox"/>  | 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。           | 4  |    |
| <input type="checkbox"/>  | 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。         | 4  |    |
| ③公平性・透明性  |   |    |    |
| <input type="checkbox"/>  | 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。) | 3  | B  |
| <input type="checkbox"/>  | 事業費に占める一般財源の額は妥当である。                    | 4  |    |
| <input type="checkbox"/>  | ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。            | 3  |    |

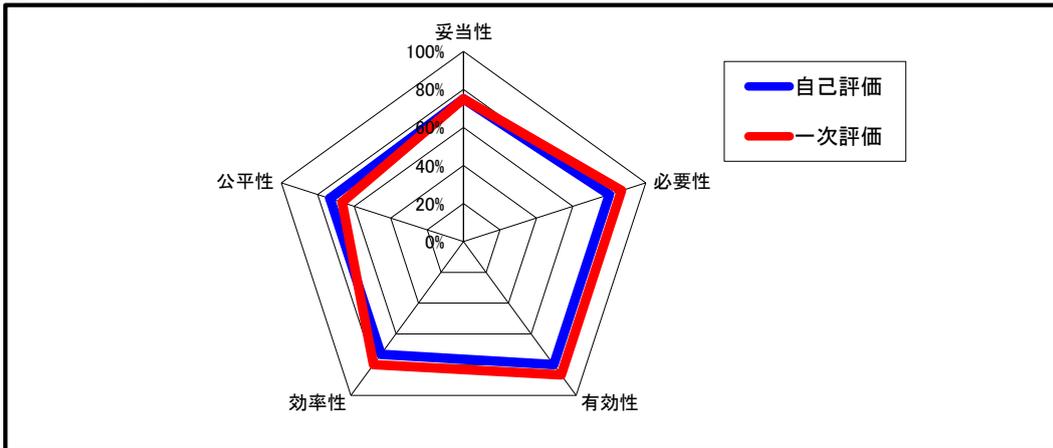
|                                     |                                     |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 今後の方向性                              | A・B=目標達成できたもの<br>C・D=目標達成できていないもの   |
| <input type="checkbox"/>            | A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) |
| <input checked="" type="checkbox"/> | B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)       |
| <input type="checkbox"/>            | C見直し                                |
| <input type="checkbox"/>            | D廃止                                 |
| <input type="checkbox"/>            | E完了                                 |

|                          |           |
|--------------------------|-----------|
| C見直しの具体的内容               |           |
| <input type="checkbox"/> | 実施方法の工夫   |
| <input type="checkbox"/> | 事業の効率化    |
| <input type="checkbox"/> | 受益者負担の適正化 |
| <input type="checkbox"/> | 事業縮小      |
| <input type="checkbox"/> | その他       |

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

支援を要する児童・生徒は年々増しており、学校もその対応に追われている。そのなかで本町は町の単費で、学習支援員を配置し、適切な指導を行っている。また、相談員やスクールカウンセラーも配置して、児童・生徒だけではなく、保護者や家庭環境も含めて指導を行っている。近年では深刻な家庭環境を伴う事案もあることから、福祉課との協力体制をとっている。今後はさらに増加することも考えられることから、当事業の必要性は大変高い。

自己評価・一次評価の傾向



## ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

江上 智恵

- A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

- B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

特別支援を要する児童・生徒が増加しているなかで、臨床心理士や特別支援員などを適切に配置していく必要がある。

- C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

- D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会  
で評価する。

月 日  
開催予定

- E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり  
直し、  
月 日  
までに提出すること。

評価終了  
 外部評価へ

# ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

## 外部評価

|   |   |   |
|---|---|---|
| 今後の方向性 <span style="float: right;">                     A・B=目標達成できたもの<br/>                     C・D=目標達成できていないもの                 </span>   |   | C見直しの具体的内容 <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 実施方法の工夫</li> <li><input type="checkbox"/> 事業の効率化</li> <li><input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul> |
| <input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)<br><input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)<br><input type="checkbox"/> C見直し<br><input type="checkbox"/> D廃止<br><input type="checkbox"/> E完了 | → |   |

|    |  |  |
|----|--|--|
| 評価 |  | 外部評価委員の意見 <div style="border: 1px solid black; height: 150px; margin-top: 5px;"></div> |
|----|--|--|

## 経営者会議

|       |    |
|-------|----|
| 経営者評価 | 町長 |
|-------|----|

|   |   |   |
|---|---|---|
| 今後の方向性 <span style="float: right;">                     A・B=目標達成できたもの<br/>                     C・D=目標達成できていないもの                 </span>   |   | C見直しの具体的内容 <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 実施方法の工夫</li> <li><input type="checkbox"/> 事業の効率化</li> <li><input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul> |
| <input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)<br><input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)<br><input type="checkbox"/> C見直し<br><input type="checkbox"/> D廃止<br><input type="checkbox"/> E完了 | → |   |

|    |  |   |
|----|--|---|
| 評価 |  | 経営者会議の結果 <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 5px;"></div> |
|----|--|---|

|   |  |
|---|--|
| 令和 5 年度予算要求事項(今後の取り組み) <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 5px;"></div> |  |
|---|--|